

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ごんべえ

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 10 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	日々のケアの中での入居者様への対応や声掛けなど「接遇」に関し、今一度見直し改めていく。	グループホームとして家庭的な良さ・自然体の良さは意識しつつ入居者様への人格・尊厳を守る言葉掛け対応をしていく。	全体会議(11月4日)で問題点の確認をし対応に向けての話し合いをし取り決めをする。又、毎日の申し送りの中で確認し合い意識を高める。	2ヶ月
2	6	身体拘束・虐待防止に向けて「なぜしてはいけないのか」勉強会、研修を行う。	身体拘束・虐待防止について正しく理解する為の勉強会等を開く。先々は社内の中で予防委員会の様な枠組みを作っていきたい。	日頃のケアの振り返りをしつつ問題点を確認し勉強会を行う。「身体拘束」等の外部研修を受講し勉強会を行う。	12ヶ月
3	35	年2回の防災訓練の定着	防災担当の職員を中心に計画を立て年間行事の中に組み込み実施する。内1回は地域のご協力を仰ぎ参加をお願いする。	運営推進会議等で状況を説明し自治会・地域へ参加協力を仰ぐ。又、地域の防災訓練にも引き続き参加する。社内訓練として夜間等連絡網の活用、不定期召集等の実施をする。	12ヶ月
4		施設内の整理整頓	使った物は直ぐに片付け所定の位置に置く習慣をつける。	夕方の申し送り前に日勤者が確認する。遅番は退勤時に見廻りをする。定期的に社内で強化月間を作り取り組む。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。